

1. 件名：原子力エネルギー協議会等との面談
2. 日時：令和4年9月22日（木） 16：10～16：45
3. 場所：原子力規制庁8階D会議室
4. 出席者：（一部テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

原子力規制部原子力規制企画課

金城課長、藤森企画調査官、片桐専門職、
松田課長補佐

原子力エネルギー協議会（A T E N A）

事務局長 他7名

中部電力株式会社 原子力本部 原子力部 運営グループ長 部長

5. 要旨：

○A T E N Aから、C N O意見交換会の議題として、燃料高度化の促進（10x10 燃料の導入に向けた取組み及び事故耐性燃料（A T F））について議題に挙げたいとの要望が示された。議題候補としていた柔軟な運転サイクル導入のための取組みについては、燃料高度化の促進とセットで議題に挙げる必要はないと考えている、との説明があった。

○A T E N Aから、C N O意見交換会の実施にあたっては、以下の要望が挙げられた。

- ・説明は検討主体であるA T E N Aが行う。
- ・技術的な議論対応のため、詳しい者を同席させる。
- ・C N Oが技術的な質疑応答に対応できるように準備したいので、可能な範囲で事前に関心事項を示してもらいたい

○原子力規制庁から、本日13時から実施した面談において、10×10燃料及びATFに関してC N O意見交換に向けて整理、準備をお願いしたところであるが、その準備状況を踏まえて、C N O意見交換会の希望日程を示してもらいたいことを伝えた。

○A T E N Aから、宿題は早々に対応し、C N O意見交換会は11月実施を目途にしたいとの希望が示された。柔軟な運転サイクル導入のための取組みについては、実務レベルの面談で話が進んでいるので、現時点においてC N O意見交換会の議題に挙げることは必須ではないとの認識が示された。

6. 配布資料：

なし

以上